

ジェットスター航空、日本発着の国際便をさらに拡大 関西-ケアンズ便を再開

日本とオーストラリアを結ぶ最大の航空会社としての位置付けをさらに強化

オーストラリアのローコストキャリアであるジェットスター航空は、2009年12月に関西-ケアンズ便*運航により西日本-ケアンズ間の国際線直行便サービスを再開する計画を発表しました。

ジェットスター航空は、関西-ケアンズ間をA330型機にて直行便を週4便運航し、2009年末までに、日本とクイーンズランド州間のフライトを週25便*まで拡大する予定です。この決定により、クイーンズランド州およびオーストラリアの観光産業にとって重要な日本市場に向けて、オーストラリア-日本間を結ぶ最大の航空会社として、ジェットスター航空の地位がさらに強化されることとなります。(*政府認可を前提としています)

今回の発表に関して、ジェットスター航空のCEO ブルース・ブキャナン(Bruce Buchanan)は、以下のように述べています。

「西日本とケアンズを結ぶ、直航便の再開をサポートするクイーンズランド政府およびクイーンズランド空港会社と引き続き協力していく予定です。関西-ケアンズ便*については、空港との合意に達することが前提となります。私たちは空港当局との間に良好な関係を維持しており、この新しい路線案についての協議のもと、前向きな結果が得られるものと期待しています。」

ジェットスター航空は現在、日本-オーストラリア間において週21便の国際便を2クラス制で運航しており、これにはA330-200型機による東京-ケアンズ(デイリー運航)、東京-ゴールドコースト(現在週5便運航、2009年3月29日からデイリー運航)、および関西-ゴールドコースト(デイリー運航)の路線が含まれます。

この他A320型機による週3便のケアンズ - ゴールドコースト間の接続便を運航しており、ゴールドコースト空港をハブとして、大阪とケアンズをワンストップで同日に接続することができます。

また、この週4便の大阪-ケアンズ間の販売が開始されれば、西日本発着のケアンズへの便を毎日提供することとなり、既存の東京-ケアンズ間のデイリー運航便の強いサポートとなるほか、この地域の観光産業にとって新たなはずみになるとブキャナンは述べています。

「必要不可欠な国際路線の一つである日本-オーストラリア間を運航するジェットスターの低価格モデルは、以前はうまくいかなかったマーケットにおいてもうまく機能しています。わずか2年間の間に、ジェットスター航空が日本において飛躍的な成長を遂げられたのは、ジェットスター航空が革新的なエアラインとしてマーケットに受け入れられたこと、また特に日本の若い方たちに受け入れられたこ



と、そして旅行業界との協力により新しいビジネスモデルを構築してきたためです。

「日本ーオーストラリア間でジェットスター航空をご利用いただくお客様の約5分の1は、初めての海外旅行をされる方です。また、多い時でお客様の約40%が、ジェットスター航空のウェブサイト、Jetstar.com、もしくはコールセンターを通じて予約されています。」

「私たちは、より多くの日本の方たちに、オーストラリアへの興味をもっていただき、旅行先としてオーストラリアを選択していただくために日本市場に毎年約 3,000 万豪ドルもの投資を行っています。」

この度、ジェットスター航空日本就航 2 周年を記念し、4 月半ばから 7 月半ばを搭乗対象日に設定した、日本発オーストラリア便往復 7,000 円という前例のない特別料金を提供しています。

ジェットスター航空は先週、ケアンズ便の路線拡大に合わせ、国際線用 A330 型機を運航するケアンズ駐在の運航乗務員と客室乗務員を増員することを発表しました。

関西ーゴールドコースト便に続く、今回の関西ーケアンズ便の路線によって、関西地域におけるジェットスター航空のプレゼンスはさらに強化されるでしょう、とブキャナンは述べています。

ジェットスター航空は昨年12月関西ーケアンズ便を休止しており、今回 2007 年 9 月に参入した同路線を再開するものです。

* 政府認可を前提としています

燃油特別付加運賃、諸費用、各種税金を除く

広報窓口:オグルヴィ PR 担当:日本語対応(長岡/田中/藤原)、英語対応(ヒルデブランド)

Tel: 03-5793-2334/2358, Fax: 03-5793-2381

e-mail: goro.nagaoka@ogilvy.com, miho.tanaka@ogilvy.com, elizabeth.hildebrand@ogilvy.com